

エル・ネット「オープンカレッジ」News

Vol.27

2007年7月31日発行 発行:(財)日本視聴覚教育協会 東京都港区虎ノ門1-19-5虎ノ門1丁目森ビル内 <http://www.opencol.gr.jp/>

平成19年度 エル・ネット オープンカレッジ「地域からの発信」コンテンツ一覧

今年度は、「中越エコ・セーフティ学習協議会」及び「eラーニングを活用した佐賀生涯学習推進委員会」の2地域のコンソーシアムが新規コンテンツを提供します。各コンソーシアムのコンテンツ名と概要は、以下のとおりです。放送は10月からの予定です。なお、詳しい情報はホームページに順次掲載していきますのでご確認ください。また、エル・ネット「オープンカレッジ」News(Vol.28 ~ 29) では、活用事例を含めた各コンテンツの内容を紹介する予定です。どうぞ、ご期待ください。

中越エコ・セーフティ学習協議会

講座「防災と自然 安全と環境を守るための知恵と技」(全7回)

豊かな自然が文化・産業を育むが、時にその僅かな揺らぎが災いとなる。水害・震災・豪雪を経験した中越から、災害への備え、直後の対応、復興地域づくりの場面における知恵と技を7回シリーズで概説する。



コンテンツ名	コンテンツ概要	キーワード
中越の自然災害	水害・震災・豪雪と、度重なる災害に見舞われた中越地域。地形や気候を踏まえて、この地域で起こる災害を概観する。	水害 震災 豪雪
市民防災におけるコミュニティの役割	災害直後の初期対応は家族・近隣住民が主体となる。市民レベルの防災力向上のために、日頃のコミュニティづくりで何をすべきか、そしてコミュニティリーダーに求められる役割は何か、について講義する。	コミュニティ 防災 リーダーシップ
経験から生まれた生活関連における防災の知恵や技	被災の経験から明らかになった災害時の生活関連ニーズの全体像を概観するとともに、それらを踏まえて生まれた知恵や技術、さらには、防災・救災製品を紹介しながら、今後の防災産業の創出に向けた取り組み方を考える。	生存・健康 確かな情報 人間らしい心
災害時でもビジネスを止めない	大規模な自然災害や深刻な事件・事故などの後に事業が停止すると、回復不能となりかねない。非常時の事業継続マネジメントとそのための平時の備えを講義する。	災害 ビジネス BCP
防災力の高いまちづくり・建物づくり	密度が高くなく、コミュニティ意識の強い地方都市圏で、災害に強い都市構造や建物、ならびに被災後に地域内で相互扶助できる避難システム、避難地整備をいかに構築するかを、中越大震災の経験を踏まえて講義する。	まちづくり 防災力 災害時の避難
成熟社会における災害からの復興を考える	人口減少、経済停滞というトレンドの中で中山間地を直撃した中越地震。震災を機に衰退が加速するのか、あるいはこれを転機として新たな復興が始まるのか。成熟社会における災害からの復興概念を考える。	地震災害 成熟社会 中山間地域
恵みと災い 自然と折り合う暮らし	多様な災害が多発するということは、裏返せば中越地域の自然環境が豊かであることの証明でもある。豊かな自然環境との共生のための環境モニタリング・保全方法を講義する。	里山 生物多様性 自然の環境保全機能

メールマガジンを毎週水曜日に配信しています。講師・講義内容・スケジュールや最新情報をお届けします。配信を希望される方は下記ホームページからご登録ください。
放送日及び講座内容は変更されることがあります。ご了承ください。また、天候により番組を見ることができない場合があります。講座内容、テキスト等詳細については、下記ホームページでご確認ください。
問い合わせ 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付 電話: 03-5253-4111(内線3263・2941)

詳しくは www.opencol.gr.jp

講座「地域の環境 森・川・海を繋ぐ環境と暮らし その保全・再生を目指して」(全8回)

地域環境の再生・改善に取り組む専門家・市民団体・市町村の活動について、佐賀県の具体的な事例紹介から現状や問題点を取り上げる。取り組む人々の姿を通して、環境問題を一人ひとりの身近な問題として捉え直し、向き合い方を学ぶ。個人レベルでの実践・アクションを促すことや、環境教育の先導役となるリーダーの育成に活用できる。

コンテンツ名	コンテンツ概要		キーワード
清掃工場とリサイクル	佐賀市清掃工場の1日に注目し、私たちが捨てたごみの行き先を確認する。また、ごみの減量・資源の有効利用に関する情報発信を行なうエコプラザについて紹介し、ゴミを減らすための工夫などについて学ぶ。		ゴミゼロ社会 循環型社会
ごみを宝に！ = 大学と地域が進める食資源循環 =	生ごみを有機堆肥に変えて畑や田んぼに戻すことで食物連鎖を促し、次の生命体のエネルギー源として役立ち、土に活力を与える。リサイクルの究極、ごみを宝物に変える取り組みを学ぶ。 (伊万里はちがめプラン)		生ごみ堆肥 環境教育 バイオマス
環境とアレルギー疾患	アトピー性皮膚炎、花粉症、科学物質アレルギーなどの「アレルギー性疾患」は現代病とされている。ここでは私たちの環境とアレルギーとの関係について考え、今後、どのように環境と付き合いしていくかを学ぶ。		生活環境の 変化と健康
職場の環境と健康	職場の環境が労働者の身体に与える影響について産業医学の観点からわかりやすく解説する。中でも粉じん・有機溶剤・騒音などの有害因子による影響や予防対策の基本について学ぶ。		化学物質曝露 環境測定リスク
森の環境	佐賀県には潜在的な自然植生である常緑広葉樹の極相林が残る森がある。しかし、私たちが普段目にする森林は人工林が多い。自然林と人工林、私たちの生活にはどちらも大切である。日々消えいく森と環境の関係を学ぶ。		自然林と人工林
川の環境	森から海へ佐賀平野をゆったり流れる川。平野には無数のクリークが連なり、田んぼの水の供給・排水の役割を担っている。また、そこには様々な動物や植物が生きている。川の環境と人々の暮らしとの関係について学ぶ。		川と暮らし
海の環境	有明海。広大な海と干潟が織り成す美しい景観は、私たちの財産である。ところが、近年、有明海の「環境異変」が叫ばれている。この問題に取り組む有明海を子どもたちの学習の場として活動を続ける団体を紹介し、これからの有明海を学ぶ。		環境異変
佐賀環境フォーラム	平成15年度の特徴GP(特色ある大学教育支援プログラム)に採択された「佐賀環境フォーラム」は、市民参画プロジェクトとして、活動を続けている。市民と学生が、いかに環境問題に携わっているかを紹介し、個人で始められる取り組みを紹介する。		環境教育地域 共同参画